

**2023年3月期**

---

**決算補足説明資料**

 **東京テアトル株式会社**

# 事業概要

当社グループは映像関連事業、飲食関連事業、不動産関連事業を基幹事業としております。



映像関連事業は、首都圏と関西に8スクリーン21サイトを運営する映画興行事業、映画・ドラマの制作、配給を行う映画制作配給事業、広告宣伝を受注するソリューション事業を展開しています。ソリューション事業の主力領域は主に屋外広告とシネアドです。



飲食関連事業は、37店舗を展開する焼鳥専門店チェーン「串鳥」（北海道31店舗・仙台5店舗・東京1店舗）、その他の業態の飲食店8店舗（東京5店舗・北海道3店舗）、食品販売店4店舗を運営しています。なお製造工場を5棟保有し、飲食店舗・総菜店舗用食材加工以外にスーパーへの卸や企業等へのケータリングを行っています。



不動産関連事業は、商業ビル、オフィスビル、住居物件を手掛ける賃貸事業と、中古マンション再生販売事業を展開しています。中古マンション再生販売は競売・仲介・直取で物件を仕入れ、グループ会社がバリューアップリノベーションし、販売しています。

# 業績概要

(増収減益要因)

売上高・営業利益：休業要請等が続いた前期から反動増となった飲食事業および市況が好調な中古マンション再生販売事業の増収により大幅増収増益。

経常利益：新型コロナウイルス感染症に伴う助成金収入が減少し、大幅減益

親会社株主に帰属する当期純利益：前期は固定資産売却益を計上したため、特別利益が減少し、大幅減益

	2023年3月期	2022年3月期	前期比	前期差
売上高	16,317百万円	13,056百万円	25.0%	+3,261百万円
営業利益	65百万円	△595百万円	—	+660百万円
経常利益	381百万円	704百万円	△45.8%	△322百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	188百万円	825百万円	△77.2%	△637百万円

# 政策進捗

当社グループは中期経営方針（2021.4～2025.3）を『プロデュースカンパニーへの革新』と定め、社員の「人財化」を図り、人的資本の充実により売上及び収益の伸長を見込む「ヒューマンリソース型ビジネス」の売上及び収益の拡大を目指し、コロナ禍からの業績の回復を図るとともに新たな戦略に取り組んでおります。

■映像関連事業では、映画を中心とした「コンテンツ」への積極投資による映画配給事業の収益拡大を掲げる中で『花束みたいな恋をした』が興行収入38億円となる大ヒットとなり規模拡大に寄与。同作品の実績により大型作品の企画参画が増加しています。

---

■飲食関連事業では、中食・卸売ビジネスの育成を掲げています。実店舗は損益を見極め整理しながら（2022年度4店舗閉店）、ラーメン業態、デパ地下、球場内グルメと新たなコンセプトを持った店舗を開店。卸売ビジネスでは冷凍商材の拡大を図っています。

---

■不動産関連事業では、中古マンション再生販売事業において、個人のお客様からの直接仕入れを強化しています。エリアについては、首都圏近郊に拡大を図るとともに関西支社を開設しました。大阪を中心に、関西エリアでの実績を確実に上げてまいります。

# セグメント別業績

	外部売上高			セグメント利益		
	2023年3月期	2022年3月期	前期差	2023年3月期	2022年3月期	前期差
映像関連事業	3,692百万円	3,391百万円	301百万円	△216百万円	△116百万円	△100百万円

映画興行事業は、まん延防止措置重点措置解除により通常営業に戻り大幅増収。  
 映画制作配給事業は、大ヒット作がなかったもののアジアドラマのDVD・字幕制作受注増により前年度並みの売上高。  
 ソリューション事業は、広告受注回復し大幅増収。  
 セグメント損失は、映画制作配給事業の減益により悪化。

飲食関連事業	4,913百万円	3,307百万円	1,606百万円	△54百万円	△896百万円	842百万円
--------	----------	----------	----------	--------	---------	--------

飲食事業は、宴会や深夜帯の需要は回復途上にあるものの、休業要請等が続いた前年度からの反動増により大幅増収。  
 セグメント損失は、原材料価格や光熱費高騰の影響を受けたが、一部メニュー値上げやコストコントロール強化で大幅縮小。

不動産関連事業	7,710百万円	6,357百万円	1,353百万円	1,083百万円	1,073百万円	9百万円
---------	----------	----------	----------	----------	----------	------

不動産賃貸事業は、前年度並みの売上高。  
 中古マンション再生販売事業は、積極的な営業活動と好調なマーケットから大幅増収。  
 セグメント利益は、中古マンション再生販売事業にて第4四半期に市場変化を考慮した価格調整の実施や関西支社設立に伴う先行コスト発生で微増。

# 2024年3月期業績予想

物価上昇、人手不足など先行き不透明ではありますが、映画館及び飲食店の業績がさらに回復するとして、増収減益を見込んでおります。

	2024年3月期予想	2023年3月期実績	当期比	当期差
売上高	17,000百万円	16,317百万円	4.2%	682百万円
営業利益	150百万円	65百万円	128.2%	84百万円
経常利益	200百万円	381百万円	△47.6%	△181百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	150百万円	188百万円	△20.2%	△38百万円

上記業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 補足資料 ★当年度の配給作品

作品名	公開日
サタデー・ナイト・フィーバー	2022年 4月 8日
フラッシュダンス	2022年 4月15日
20歳のソウル	2022年 5月27日
はい、泳げません	2022年 6月10日
映画 それいけ！アンパンマン ドロリンとバケ〜るカーニバル	2022年 6月24日
神々の山嶺	2022年 7月 8日
さかなのこ	2022年 9月 1日
テアトル・クラシックス ACT.2 名優ポール・ニューマン特集	2022年10月21日
窓辺にて	2022年11月4日
わたしのお母さん	2022年11月11日
映画かいけつゾロリ ラララ♪スターたんじょう	2022年12月9日
エゴイスト	2023年 2月10日
映画きかんしゃトーマス めざせ！夢のチャンピオンカップ	2023年 3月10日
ロストケア	2023年 3月24日

### 『エゴイスト』

第16回アジア・フィルム・アワードにおいて、  
主演・宮沢氷魚が最優秀助演男優賞を受賞。



作品名	公開日	監督	脚本	出演
せかいのおきく	2023年4月28日	阪本順治	阪本順治	黒木華、寛一郎、池松壮亮
それいけ！ゲートボールさくら組	2023年5月12日	野田孝則	野田孝則	藤竜也、石倉三郎、大門正明
テアトル・クラシックスACT.3 ビデオドローーム 4K ディレクターズカット版	2023年6月16日	デヴィッド・クローネンバーグ	デヴィッド・クローネンバーグ	ジェームズ・ウッズ、デボラ・ハリー
映画『それいけ！アンパンマン ロボリィとぼかぼかプレゼント』	2023年6月30日	橋本敏一	米村正二	声の出演：戸田恵子 ゲスト声優：桐谷美玲、 トレンディエンジェル
高野豆腐店の春	2023年	三原光尋	三原光尋	藤竜也 麻生久美子 中村久美
スイート・マイホーム	2023年9月	齊藤 工	倉持 裕	窪田正孝、蓮佛美沙子、奈緒
白鍵と黒鍵の間に	2023年10月	富永昌敬	富永昌敬 高橋知由	池松壮亮
愛にイナズマ	2023年秋	石井裕也	石井裕也	松岡茉優 窪田正孝
湖の女たち	2023年11月	大森立嗣	大森立嗣	福士蒼汰 松本まりか
片思い世界	2024年	土井裕泰	坂元裕二	広瀬すず 杉咲花 清原果耶

・他順次リリース予定。・公開日等は変更となる場合があります。





映画『それいけ!アンパンマン ロボリィとぼかぼかプレゼント』



せかいのおきく



それいけ!ゲートボール さくら組



テアトル・クラシックス ACT.3  
ビデオドローム 4K ディレクターズ  
カット版



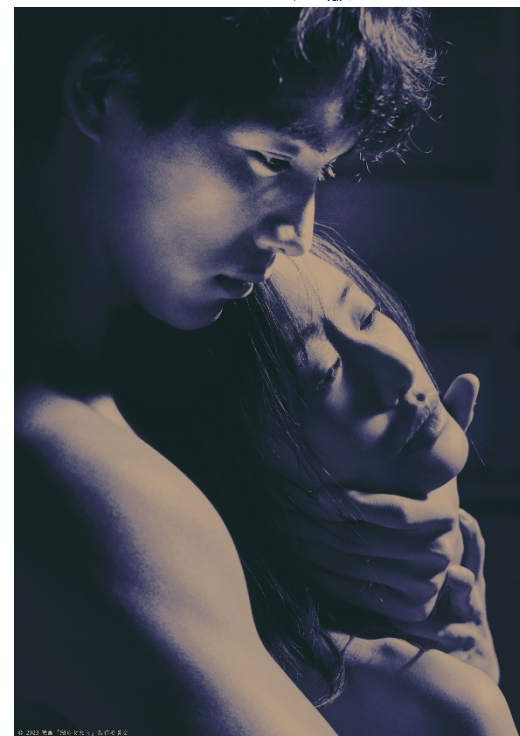
高野豆腐店の春



スィート・マイホーム



片思い世界



湖の女たち



白鍵と黒鍵の間に



2023年、秋

全国ロードショー

愛にイナズマ